

《説明会における質疑応答及びご意見》

【質疑応答】

質問	回答
びん沼川の河川管理者である埼玉県が出席しないのは何故か。	市の工事に係る部分について説明を行うことが目的であるため、出席していない。
配布資料の工程表では、6月から8月にびん沼川整備工事となっているが、県からは、6月から10月は河川関係の工事はしないと伺っている。資料の間違いではないのか、それとも変更になるのか伺いたい。	記載している6月から8月のラインは、県と県の工事受注者との契約工期を示している。仮に変更となった場合は、県と工程を調整し、進めていく。
過去の議会で、びん沼自然公園にパークゴルフ場を整備することは難しいという旨の答弁があったが、どのようにして整備することになったのか伺いたい。	今回の整備事業は、青年の家跡地の利用を含めたびん沼自然公園全体のリニューアル工事として検討してきたものであり、パークゴルフ場のみを整備するための事業とは異なる。リニューアルの内容は、地域の方々や学識経験者を交えながら、青年の家跡地等整備推進会議の場で意見交換を行い、決定した。
びん沼自然公園は木が生えているため、パークゴルフ場の整備が難しいとしていたのに、何故整備を行うことになったのか。	過去に樹林地を伐採しての整備は難しいと回答したことは認識している。本計画では、既存の樹林地等だけでなく、公園区域を広げた部分も利用することで様々な施設を一体的に整備する内容で、新たに計画したものである。
この事業の総額はどのくらいなのか、伺いたい。	9億5,480万円で工事の契約を行っている。
コロナ禍で不要不急の外出が制限される中で、今やらなければならない理由は何か。	今後、新たな賑わいを創出し、多くの人々に訪れてもらえるような公園を造りたいと考えているため、コロナ禍の状況となり申し訳ないが、ご理解いただきたい。

<p>今からでも市民の憩いの場として変えることはできないのか。何故、パークゴルフになったのか、市民の声を本当に聞いてくれたのか、説明してほしい。</p>	<p>今回の整備事業に関しては、青年の家跡地等整備推進会議の場で意見交換を行ってきた。また、広く市民の声を聞くべきということに関しては、整備のためにご協力いただいた地域の方々の意見を大切にしたいという考えのもとで、意見交換を行っている。そういった中で計画をしてきたので、ご理解いただきたい。</p>
<p>治水に影響がある工事は行わないとのことだったが、治水対策に関する説明がないのは何故か。</p>	<p>治水対策については、河川管理者である川越県土整備事務所と協議を行っており、治水に影響のないよう整備を進めていくということでご理解いただきたい。</p>
<p>治水対策についてはまだ決まっていないということか。</p>	<p>現在、設計施工を同時発注する形の工事形態となっており、河川区域の内外や公園管理施設等の工事を始めるにあたって、着工前に説明ができればという考えのもとで説明会を開催した。</p>
<p>治水対策で客土が入れられず、限られた土量で整備を行うという説明があった。まず、パークゴルフ場が造れるのかどうかを確認すべきではないのか。パークゴルフ場が造れるのかどうか分からないのであれば、議会等で承認を得るところからやり直すべきではないのか。また、このまま工事を進めても維持管理費がかかることが考えられる。今後について説明してほしい。</p>	<p>パークゴルフ場については、現在設計を進めており、調節池容量に影響を及ぼさない範囲で整備を行うよう河川管理者と協議を行っている。市としては、運営を含めた施工をすることで、予定通り整備を進めていきたいと考えている。</p>
<p>この事業は破綻していないのか。問題が起きたら誰が責任を取るのか。</p>	<p>破綻したらという仮定のご質問についての回答は差し控える。</p>
<p>びん沼の自然をどのように環境評価しているのか伺いたい。</p>	<p>湿地帯8haのうち、3haはパークゴルフ場として整備し、残りの5haは湿地として残せるよう環境に配慮していくとともに、工事の際は隣接する樹林地等の保全にも配慮して進める計画となっている。繰り返しになるが、今回の整備では、設計を行いながら工事を進める形をとっている。</p>

<p>富士見市だけで考えるのではなく、他の市との調整は行ったのか。</p>	<p>今回の整備について、他市と調整を行った経緯はない。</p>
<p>今回の説明会で何を理解してもらいたいのか。どのようなねらいがあるのか。</p>	<p>今回の整備では、パークゴルフ場の他に公園管理施設などの建設工事があり、6月から一部準備的に工事着工している。これらの工事が始まることにより、地域の方々に影響が生じると考え、大まかなスケジュール等を説明するというのが趣旨となっている。</p>
<p>パークゴルフ場について、ここまで大きなものが必要なのか。</p>	<p>多くの方に来場してもらうことを目標とするうえで、他市の事例も参考とし、36ホールを整備する計画としている。</p>
<p>前回の説明会からどういった進展があったのか。</p>	<p>昨年11月の段階では、設計途中だった公園管理施設等の設計が進み、大まかな実施工程が決まってきた。また、パークゴルフ場については設計を進めており、河川管理者である川越県土整備事務所との協議を行っている。</p>
<p>見積書はすべてとってあるのか伺いたい。</p>	<p>今回の発注は、プロポーザル方式であり、企業側からの提案を基に契約の相手方を決める形となっている。</p>
<p>一者のみから見積もりのようなものを取り、それを契約工事代としているのか。そのまま鶴呑みにしたという解釈でいいか。</p>	<p>プロポーザル方式で広く公募を行ったが、結果として応札が、一者のみであった。</p>
<p>パークゴルフ場は1人当たりいくらでプレーできるのか。</p>	<p>有料施設の料金については、6月に都市公園条例の改正に関する議案を提出しており、パークゴルフ場は1人600円としている。</p>
<p>膨大な維持管理費が必要になるのではないかと感じた。管理を委託するのではなく、自然な形の憩いの場として市が責任を持って管理してほしい。</p>	<p>維持管理については、指定管理者制度を採用しており、市としても包括的に管理を行っていく考えである。</p>
<p>第3回の説明会は開催するのか。市長に出席してもらい、直接意見を伝えたいので再度検討を行ってほしい。</p>	<p>今回は、工事に着手するにあたり、ご迷惑をおかけする近隣や公園を利用する方に向けて工事概要の説明を行った。第3回の説明会を希望するご意見については、対応について検討させていただきたい。</p>

【意見】

土地を提供した者として、想いを話す。貴重な土地を提供した大勢の人々の想いは、早く目的の整備を行い、市や地域の方々に還元するというのではないだろうか。そして、自然と人間の棲み分けもあって然るべきだと思う。土地を提供した人々の想いを汲んで、早く計画を進めてほしい。

早くびん沼自然公園を整備してほしいと思っている。自然と人間の共存を考えて作られたはずの公園で、パークゴルフ場を整備してほしいという意見があったのか、市民の意見をどのように汲んでいるのか納得できる説明がなかった。パークゴルフ場ではなく、自然について学べるような場所を造るべきではないのか。

土地を提供した人々の想いを汲んでほしい。また、葦原を残してほしいという意見があったが、近隣住民としては火災等の心配をしており、公園の利用についても、マナーを守らない人が見受けられる。整備を行うのであれば、やるべきことを決めてから進めるべきではないのか。自然を残すことだけでなく、近隣に住んでいる住民のことも考えて、利用しやすい公園を整備してほしい。

びん沼自然公園の供用開始から、自然保護を前提としたうえで利用しやすさを両立するのは難しいことだと実感している。今回の整備では、青年の家跡地、びん沼自然公園を利用し、すべての人が憩える場所づくりを行うと聞いている。そのため、スムーズな工事着工をお願いしたい。

びん沼自然公園の整備に関して、事業の発表から説明会に至るまでの一連の対応に不透明な部分が多くある。事業について市民が納得できる説明をするべきではないのか。市の職員は市民のために働くべきであり、意見もしっかりと聞いてほしい。陳情書への対応も進んでおらず、信用できない。

農民にとって、土地はとても大切なものであり、その土地を水害対策や緑地として利用してもらうために手放している。早く整備を進めてほしいという意見があったが、それ以外の意見もたくさんある。市民の意見を聞き、市や県で分割するのではなく、全部あわせてびん沼自然公園の整備事業として進めてほしい。

わんどが廃止になった経緯について、はっきりさせてほしい。11月の説明会のあと、整備に疑問を持った人々でびん沼自然公園を愛する会を作っている。整備を行うのであれば、もっと多くの声を聞き、害獣対策などを考えるべきだと思う。土地を提供した人々のことや、コロナ禍の状況を考えると、必要な事業なのか。また、これから設計を行うという状況で工事を進めてほしくない。本日は、11月時点の疑問に対する回答や関係者の出席をお願いしていたが、かなわず残念に思う。あらゆることを想定して進めてほしい。

市民の税金から9億5千万円を捻出することをよく考えて進めてほしい。

今日のこの話は、市長に一番聞いてほしかった。次回の説明会には参加してほしい。自然環境の保全に関しては、富士見市単独ではなく、近隣市町を含めて考えるべきだと思う。また、今回の説明は理想論のように見える。特に、大型遊具には危険を感じるため、安全な遊具を設置してほしい。今後も市に管理をしてほしい。

契約金に関して、本当は約10億4千万円であり、市民一人当たりの負担は、9,300円という計算になる。今回の整備費用を他に必要な事業に充てるべきではないのか。また、もっと広範囲の市民や利用者から意見を聞き、計画を行うべきではないのか。

市民へ還元するという意味合いでは、施設使用料は無料に近い金額にするべきだと思う。また、今回の事業は不透明な部分が多くあるように感じるため、再度調整を行ったうえで進めてほしい。

今回の説明会に関し、撮影・録音したものを公開してほしい。

過去に土地を手放した経験を踏まえて、話を聞いていた。びん沼がどのような形で残されていくのか、様々な所に関連すると思う。市民や近隣市町村を含め、憩える場にしていただきたい。

第3回の説明会を開催するまでは、工事をストップしてほしい。